

駄載を豫
備馬に分

渡河十數
回、深さ
馬腹に及

ハラスタ
ンの空牆

アクメチより南進約三里、峩々たる一山、天に朝するもの、是をアツコラム嶺と爲す。海拔實に九千二百二十尺、昇降の坂路共に峻嶮なり、就中降坂は登坂に比して岩石多く、固より馬上通過すべくもあらず。因て駄載の重きは豫備馬に分ち、叱々相戒め、前後約二時間を要し辛うじて人馬共に無事に其の昇降を畢れば、忽ち聽雜^{ツメナ}阿布河の上流を溯らざるへからず、渡河十數回、深さ往々馬腹に及び、曩には全身汗を流したるも、是に至つて肌膚粟を生じたり。而して其の左右なる山々は、綠泥片岩の大部に大理石を交ゆ。斯て午後三時約十一里の行程を以て、哈拉斯塘^{ハラスタン}の空牆に投せり。

四、クデマザール附近太古の雪

二十二日、前夜來少しく増水の爲め、暫く發程を見合せ、午前八時五十分出發す、渡河十數回、水、馬腹を超えて頗る困難を極めたり。路は是れ岩石道、左右は千尋の絶壁を仰ぎ、花崗岩、片麻岩、綠泥岩多く、往々石英、雲母を含有す。午後三時三十分、行程約十里、クデマザール又の名タルラクに入る。此地戸數八、凍氷は十月よりし、解氷は六月とす、下種は六月末より七月初めとし、收穫は八月末に起り九月初に畢る、附